

# プロローグ

めざすのは、選手、スタッフ、ゲームズメーカー※、観客など、両大会に関わるすべての人々が最高のパフォーマンスを発揮し、誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しみ共感し合える喜びを、佐賀から発信する大会。

そのために、両大会の準備段階から、大会の開催、そして大会が終わったあともずっと、

あなたの心に、  
わたしの心に、  
みんなの心に、

スポーツを通じた共感、共鳴、一体感が生まれるように、地域のさまざまなヒト、モノ、コトと大会との融合を念頭に、これから取組みを行っていきます。

コンセプトワードは、**融合**。

さあ、大会の成功に向けて、  
あなたも、わたしも、みんなでスタートダッシュ！

[※ゲームズメーカー：P7参照]

# 両大会への思い

融合は、もう始まっている!!

子どもも、大人も、障がい者も、高齢者も、スポーツを楽しみ、共感する心は皆ひとつ。

だからこそ、平成35年佐賀県で開催する「国民体育大会」と「全国障害者スポーツ大会」の基本構想を、全国で初めて、一つのものとして作成しました。

年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域の中で、気軽に集い、交流し、お互いに個性を尊重しあいながら生き生きと暮らしていける社会。

スポーツには、そうした社会の実現のために、みんなの心をひとつにする“ちから”があります。

佐賀県では、競技スポーツ、生涯スポーツ、障がい者スポーツ、プロスポーツなどを一元的に推進しており、たとえば「県民体育大会」・「佐賀県障害者スポーツ大会」・「さがねりんピック」の3大会の愛称を「佐賀スポーツフェスタ」に統一し、開会式や一部競技を合同で実施するなど、他県に先駆けて融合の形を模索しています。

こうした中、平成35(2023)年の両大会開催に向けても、基本構想作成の段階から両大会について一緒に考え、さまざまな立場の方の思いやご意見をお聞きしながら、全国で初めて、一つの構想として作成しました。

でも形より大切なのは、両大会を通してみんなの心が融合すること。

誰もがお互いの違いを認め合いながら、共にスポーツを楽しみ、語り合える、そんな喜びを、佐賀から発信していきたいと思えます。

佐賀新聞社提供

YOU GO! I GO!  
HERE WE GO!!

